博報堂ＤＹグループのソーシャルアクション

社員一人ひとりがクリエイティビティを発揮し、社会課題解決に向けたソーシャルアクションに取り組むとともに、そこで生まれた新たなアイデアや経験、スキルを事業活動に積極的に活かしています。活動テーマは年々広がり、2021年3月期は、120件のソーシャルアクションに延べ739人の社員が参加しました。なお、当社グループのソーシャルアクションは博報堂ＤＹホールディングスのウェブサイト「サステナビリティ」のソーシャルアクション事例集にて公開しています。

中高生を対象とした教育プログラム「H–CAMP」の推進と先生・保護者を対象とした「博報堂・これからの教育ラボ」での新たな挑戦

子どもたちと社員が楽しみながら学び合う、対話・体験型プログラム「H-CAMP」は2013年の開始から8年間で延べ8,198人の子どもたちが参加、延べ270人の博報堂ＤＹグループ社員が関わり、未来を担う子どもたちに向けた取り組みを推進しています。H-CAMPの活動を軸に「教育に博報堂らしい“別解”を」を掲げて行う取り組み「博報堂・これからの教育ラボ」では、先生や保護者とともに、子どもたちが、自分らしく未来 を切り拓いていく力を養うためのヒントを提供しています。2021年1月には「子どもがつまずいた時の、手の差し伸べ方」と題した社内セミナーをオンラインで開催し、約190人の社員が参加しました。

社員一人ひとりのクリエイティビティを活かし、教育機関へ貢献（博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ）

教育機関を通じて、発想力や伝える力などのクリエイティビティや、広告・マーケティングなどの専門性等を次世代に伝えることを目的として、社員による教育機関への講師協力を積極的に実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大における休講のため、前期より実施回数が減少しましたが、各教育機関にてオンラインでの講義体制が整ってきました。

参加人数
延べ**5,120**人
97の教育機関*で**78**人の社員が延べ**439**回の講義を実施
（2021年3月期）

* 小学校・中学校・高校・短期大学・大学・大学院・専門学校

SDGsのビジネス化に向けた社員エンゲージメント

SDGsを事業機会として捉え、社員一人ひとりへの浸透を積極的に行っています。2021年3月期には、「社会課題解決に向けてクリエイティビティを活かす」というテーマで、「SDGs Creativity セミナー」をオンラインで開催し、約360人が参加しました。また、支社やグループ企業への「SDGs啓発セミナー」を計4回実施し、延べ800人が受講しました。

さらに、SDGsの視点からクライアント企業のビジネスイノベーションを支援する全社的プロジェクト「博報堂SDGsプロジェクト」が博報堂グループのSDGs業務拡大のため、「SDGs DAYS」という社内ウェビナーを実施し、延べ1240人が参加しました。

SDGsが示す社会の課題解決に向けて、事業活動での貢献と自社のアクションの創出とともに継続して推進しています。

参加人数
延べ**2,400**人
（2021年3月期）